

官報號外

號外

大正七年三月十日 日曜日

印刷局

第四十回 衆議院議事速記録第二十一號

大正七年三月九日(土曜日)午後一時十五分開議

議事日程 第二十號 大正七年三月九日

午後一時開議

第一 狩獵法改正法律案(政府提出)
右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

大正五年度豫備金支出ノ件

大正五年度豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件

大正五年度特別會計豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件

大正五年度大正三年臨時事件豫備費支
出ノ件

大正五年度大正三年臨時事件豫備費
外ニ於テ豫算外支出ノ件

大正五年度帝國鐵道積立金支出ノ件

豫算超過支出ノ件

大正五年度大正三年臨時事件豫備費
支
出ノ件

大正五年度大正三年臨時事件豫備費
外ニ於テ豫算外支出ノ件

大正五年度帝國鐵道積立金外ニ於テ
豫算超過支出ノ件

右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

有價證券割賦販賣業法案(政府提出)

第五 巡查看守退隱料及遺族扶助料法中改正
法律案(政府提出)
(貴族院送付)

第六 刑法中改正法律案(赤尾彦作君提出)

第七 人權保護ニ關スル法律案(郎君提出)

第八 刑事訴訟法中改正法律案(高木益太郎君提出)

第九 神祇ニ關スル特別官衙設置建議案(岩崎勸君外十三名提出)

第十 津山上郡間鐵道建設ニ關スル建議案(福井三郎君外四名提出)

第十一 津山智頭間鐵道建設ニ關スル建議案(福井三郎君)

第十二 津山智頭間鐵道建設ニ關スル建議案(福井三郎君)

第十三 不動産金融改善ニ關スル建議案(小山松齋君)
第十四 普通銀行ノ金融ニ關スル建議案(堀川美哉君)
第十五 陰陽連絡廣江鐵道速成ニ關スル建議案(恒松隆慶君)
第十六 輸出綿織物検査所設置ニ關スル建議案(吉君外四名提出)

第十七 野岩羽鐵道建設ニ關スル建議案(八田宗吉君)
第十八 勢江鐵道敷設ニ關スル建議案(天春文衛君)
第十九 紀勢鐵道建設ニ關スル建議案(岡崎邦輔君外十四名提出)

第二十 「トラホーム」病豫防ニ關スル建議案(行謙健男君提出)
○議長(大岡育造君) 諸般ノ報告ヲ命シマス
(書記朗讀)

一 政府ヨリ提出セラレタル建議案左ノ如シ
大正五年度豫備金支出ノ件

大正五年度豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件

大正五年度特別會計豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件

大正五年度大正三年臨時事件豫備費支出ノ件

大正五年度大正三年臨時事件豫備費外ニ於テ豫算超過支出ノ件

大正五年度帝國鐵道積立金支出ノ件

豫算超過支出ノ件

大正五年度大正三年臨時事件豫備費支
出ノ件

大正五年度大正三年臨時事件豫備費外ニ於テ豫算超過支
出ノ件

大正五年度帝國鐵道積立金外ニ於テ豫算超過支
出ノ件

大正五年度大正三年臨時事件豫備費外ニ於テ豫算超過支
出ノ件

狩獵法改正法律案

東京市區改正條例中改正法律案

京都市又ハ大阪市ノ市區改正ニ關シ東京市區改正條例及東京市區改正土地

建物處分規則ヲ準用シ得ルノ法律案

一議員ヨリ提出セラレタル建議案左ノ如シ
勞働保險法制定ニ關スル建議案

乙種狩獵免許ヲ受ケタル者白痴者又ハ瘋癲者ト爲リタルトキハ地方長官
ハ其ノ免許ヲ取消スヘン

第八條 獵獵免許ヲ受クル者ハ甲乙各種ニ付左ノ區別ニ從ヒ免許稅ヲ納ム
ヘシ

一等	地租五百圓以上、營業稅百五十圓以上若ハ 所得稅百圓以上ヲ納ム者又ハ其ノ家族	四十五圓
二等	地租三十圓以上、營業稅二十圓以上若ハ 所得稅ヲ納ム者又ハ其ノ家族	二十圓
三等	一等及二等以外ノ者	五圓

前項ノ免許稅ハ收入印紙ヲ以テ之ヲ納ムヘン

第九條 主務大臣又ハ地方長官ハ鳥獸ノ保護繁殖ノ爲又ハ土地所有者ノ出
願其ノ他ノ事由ニ因リ必要ト認ムル場合ニ於テハ十年以内ノ期間ヲ定メ
禁獵區ヲ設クルコトヲ得

第十條 地方長官ハ危險豫防ノ爲其ノ他必要ト認ムルトキハ銃獵禁止區域
ヲ設クルコトヲ得

第十一條 左ニ掲タル場所ニ於テハ狩獵ヲ爲スコトヲ得ス

一 御獵場

二 禁獵區

三 公道

四 公園

五 社寺境内

六 墓地

第十二條 學術研究又ハ有害鳥獸驅除ノ爲其ノ他特別ノ事由ニ因リ主務大
臣又ハ地方長官ノ許可ヲ受ケタル場合ニ於テハ前數條ノ規定ニ拘ラズ鳥
獸ヲ捕獲シ又ハ鳥類ノ卵ヲ採取スルコトヲ得

主務大臣又ハ地方長官前項ノ許可ヲ爲シタルトキハ許可證ヲ下付ス

第十三條 前條第一項ノ規定ニ依リ捕獲シタル鳥獸又ハ採取シタル鳥類ノ
卵ハ之ヲ譲渡シ又ハ譲受クルコトヲ得ス但シ警察官署ノ許可ヲ受ケタル
トキハ此ノ限ニ在ラズ

第十四條 國、道府縣、郡又ハ市町村ハ命令ノ定ムル所ニ依リ獵區ヲ設定ス
ルコトヲ得

第十五條 爆發物、劇藥、毒藥、据銃又ハ危險ナル異物ハ陷阱ヲ使用シテ鳥獸
ヲ捕獲スルコトヲ得ス

第十六條 日出前若ハ日沒後、市街其ノ他人家稠密ノ場所若ハ衆人群集ノ
場所ニ於テ又ハ銃丸ノ達スヘキ處アル人畜、建物、汽車、電車若ハ艦船ニ向
テ銃獵ヲ爲スコトヲ得ス

第十七條 欄柵其ノ他ノ圍障又ハ作物アル土地ニ於テハ占有者共同狩獵地
ニ於テハ免許ヲ受ケタル者ノ承諾ヲ得ルニ非サレハ狩獵又ハ第十二條第
一項ノ規定ニ依ル鳥獸ノ捕獲ヲ爲スコトヲ得ス

第十八條 獵區ニ於テハ獵區設定者ノ承認ヲ得ルニ非サレハ狩獵又ハ第十
二條第一項ノ規定ニ依ル鳥獸ノ捕獲ヲ爲スコトヲ得ス

第十九條 獵獵免許ヲ受ケタル者又ハ第十二條第一項ノ許可ヲ受ケタル者
ノ捕獲シ又ハ鳥類ノ卵ヲ採取セムトスルトキハ狩獵免狀又ハ許可證
ヲ携帶スヘシ

警察官吏、憲兵、森林官吏又ハ市町村長ハ前項ノ規定ニ依リ携帶スヘキ狩
獵免狀若ハ許可證又ハ捕獲シタル鳥獸若ハ採取シタル鳥類ノ卵ヲ検査ス
ルコトヲ得

第二十条 本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ違反シテ捕獲シタル鳥獸又
ハ採取シタル鳥類ノ卵ハ之ヲ譲渡シ又ハ譲受クルコトヲ得ス

第二十一條 左ノ各號ノ一二該當スル者ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

一 第三條第十一條第十五條又ハ第十六條ノ規定ニ違反シタル者
二 詐欺ノ行爲ヲ以テ狩獵免許又ハ第十二條第一項ノ許可ヲ受ケタル者
第三條又ハ第十五條ノ規定ニ違反スル犯罪ノ用ニ供シタル物件及其ノ犯
罪ニ因リテ得タル獵獲物ニシテ犯人ノ所有シ又ハ所持スルモノハ之ヲ沒
收ス

第二十二条 左ノ各號ノ一二該當スル者ハ三百圓以下ノ罰金ニ處ス但シ第
十七條ノ規定ニ違反シタル罪ハ占有者又ハ共同狩獵地ノ免許ヲ受ケタル
者ノ告訴ヲ待テ之ヲ論ス

一 第一條第一項第二條第五條第五項、第十三條第十七條第十八條又ハ
第二十條ノ規定ニ違反シタル者

二 第一條第三項ノ規定ニ依ル禁止又ハ制限ニ違反シタル者

三 銃獵禁止區域ニ於テ銃獵ヲ爲シタル者

四 正當ノ事由ナクシテ第十九條第二項ノ規定ニ依ル検査ヲ拒ミタル者
五 獵獵免狀又ハ第十二條第二項ノ許可證ヲ他人ニ使用セシメタル者

第二十三條 御獵場禁獵區、銃獵禁止區域、獵區又ハ共同狩獵地ノ標識ヲ移
轉、汚損、毀壞又ハ除却シタル者ハ五十圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

第二十四條 獵獵免許又ハ第十二條第一項ノ許可ヲ受ケタル者本法又ハ
本法ニ基キテ發スル命令ニ違反シ罰金ニ處セラレタルトキハ其ノ狩獵免
許又ハ許可ハ效力ヲ失フ

第二十五條 第十九條第一項ノ規定ニ違反シタル者ハ科料ニ處ス

第二十六條 本法中地方長官トアルハ東京府ニ於テハ警視總監トス
本法中市町村又ハ市町村長トアルハ市制又ハ町村制ヲ施行セサル地ニ於
テハ之ニ準スヘキモノトス

第二十七條 本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第二十八條 明治三十年法律第七號ハ之ヲ廢止ス

附 則

第二十九條 舊法ニ依リ爲シタル許可ニ付テハ仍從前ノ例ニ依ル
舊法ニ依リ設ケタル禁獵區又ハ銃獵禁止ノ區域ハ之ヲ本法ニ依リ設ケタ

ル禁獵區又ハ銃獵禁止區域ト看做ス
第三十條 本法施行前爲シタル共同狩獵地ノ免許ハ仍其ノ效力ヲ有ス

前項免許ノ期間ハ申請ニ因リ之ヲ更新スルコトヲ得

第三十一條 狩獵免許ヲ受ケタル者舊法第二十一條乃至第二十三條ノ規定
ニ依リ處罰セラレタルトキハ其ノ狩獵免許ハ效力ヲ失フ此ノ場合ニ於テ

ハ一年ヲ経過スルニ非サレハ狩獵免許ヲ受クルコトヲ得ス

(國務大臣仲小路廉君登壇)

○國務大臣(仲小路廉君) 本案提出ノ理由ヲ簡單ニ申上ゲマス、本案ヲ提出致シマ

シタノハ、近來本邦ニ於テ野生ノ鳥獸共ニ著シキ減少ヲ來シタノニアリマス、此等野生

ノ鳥獸類が、極メテ著シク減少ヲ致シマシタルコトハ、第一ハ農業ニ對シテ、第二ハ林

業其他ニ對シテ、尠カラヌ惡影響ヲ及ボスノニアリマス、斯ノ如ク野生ノ鳥獸が減少致シ

マスルノハ、畢竟近來ニ於テ狩獵家ノ増加致シマシタ事、或ハ狩獵ノ器具類ノ進歩致シ

マシタ事、其他ニ種々密獵ヲ致ス者モアリマス、此等種々ノ關係ガ相俟チマシテ著

シク鳥獸類ノ蕃殖ヲ阻碍スルコトニナリマシタ、ドウ致シマシテセ此儘ニシテ置ク譯ニ

參リマセスノニアリマス、此度狩獵法ヲ改正致シマシテ、其禍害ヲ努メテ防止シタイト

存シマスノニアリマス、此改正ノ趣意ハ是迄ハ保護サルベキ鳥類ヲ掲ケルノ主ト致シテ

居ツタノニアリマス、之ヲ此度ハ改メマシテ更ニ狩獵ヲシテ差支ノナイ鳥類ヲ掲ケルコトニ

致シマシタ、次ニハ狩獵ノ器具機械ニ付テ、之ニ對シテ相當ナル制限ヲ致シマスルコト、

更ニ獵區ノ設定ニ關スル制度ヲ立テカコト、尙狩獵ニ關シテ課稅ノ點ニ付キマシテ、相

當ノ改正ヲ試ミマシタ、其上ニ密獵者ニ對シテ制裁及各種ノ取締ニ付キマシテ、總テ

至當ナル方法ニ依リマシテ、此等ノ取締ヲ全ワ致シタイ積リアリマス、此等が今回此法

律ヲ改正致シマスル趣意ニアリマス、何卒御審議ノ上御協賛アラムコトヲ希望致シマ

ス
○富島暢夫君 是ヨリ決算委員會ヲ開キマスカラ、委員ノ諸君ハ決算委員室ニ御集
リテ願ヒマス
○議長(大岡育造君) 日程第一、右議案ノ審査ヲ付託スベキ委員ノ選舉ヲ議題ト
致シマス

第一 右議案ノ審査ヲ付託スベキ委員ノ選舉

○岩崎勲君 委員ノ數ハ特ニ十八名トシ、議長ニ於テ指名セラレムコトヲ望ミマス
○議長(大岡育造君) 岩崎君ノ動議ニ御異議ガアリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(大岡育造君) 御異議ガナケレバ本案ハ議長指名十八名ノ委員ニ付託スル
コトニ決シマス——日程第三、大正五年度豫備金支出ノ件大正五年度豫備金外ニ
於テ豫算超過及豫算外支出ノ件大正五年度特別會計豫備金支出ノ件大正五年

度特別會計豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件大正五年度大正三年支
時事件豫備費支出ノ件大正五年度大正三年臨時事件豫備費外ニ於テ豫算外支
出ノ件大正五年度帝國鐵道積立金支出ノ件大正五年度帝國鐵道積立金外ニ於
テ豫算超過支出ノ件承諾ヲ求ムル件ヲ議題ト致シマス——勝田大藏大臣

大正五年度豫備金支出ノ件

大正五年度豫備金外ニ於テ豫算超過及豫
算外支出ノ件

大正五年度特別會計豫備金支出ノ件

大正五年度豫備金外ニ於テ豫
算外支出ノ件

大正五年度大正三年臨時事件豫備費支出
ノ件

大正五年度大正三年臨時事件豫備費外ニ
於テ豫算外支出ノ件

大正五年度帝國鐵道積立金支出ノ件

大正五年度帝國鐵道積立金外ニ於テ豫
算外支出ノ件

大正五年度大正三年臨時事件豫備費支出
ノ件

大正五年度豫備金ノ豫算額ハ百万圓ニアリマシテ、檢

明ヲ申上ゲマス、大正五年度一般會計第一、豫備金ノ豫算額ハ百万圓ニアリマシテ、檢

丁及新兵旅費、傳染病豫防検疫ノ諸費、海軍受託造修費等、其他避クベカラザル所

ノ豫算ノ不足ニ對シテ、此等ノ全部ヲ充用致シマシタ次第ニアリマス、又大正五年度一般

會計第一豫備金ノ豫算額ハ御承知ノ如ク二百万圓ニアリマシテ、之ヲ衆議院議員臨

時選舉、及臨時總選舉ニ關スル取締費、臨時軍事費、特別會計繰入補足船艦救難及

復舊費、其他各省ノ所管ニ於キマスル所ノ災害復舊費等ノ豫算外ノ支出ヲ爲シマシタ

ガ爲ニ、此二百万圓モ全部仕拂切リマンダ次第ニアリマス、大正五年度大正三年臨時

事件豫備費ノ豫算額ハ一千八百五十万圓ニアリマスガ、臨時事件ニ關シマシテ各省

所管ニ於キマシテ、豫算外ニ於テ支出ヲ要シマスル諸般ノ費途ニ對シマシテ、右申シマ

シタ全額ヲ支出致シマシタ、大正五年度一般會計第一第二豫備金及大正三年臨時

事件豫備費豫算ノ拂切リトナリマシタ爲ニ、諸拂戻金、臨時軍事費特別會計繰入

補足、大正三年臨時事件費其他ニ付キマシテ、國庫剩餘金ヲ以チマシテ豫算超過並

百〇九万九千三百十圓アリマシテ、豫算不足ニ對シマシテ、豫算額ハ三
ヶ必要已ムベカラザル費用ニ對シマシテ、豫備金ヲ以チマシテ、又ハ豫備金外ニ於キマシ
テ、全部之ヲ支出充用致シマシテ、又右積立金勘定補填金カラ致シマシテ、充用サレマ
シタモノ、外ニ、鐵道作業歲入ヲ以チマシテ豫算超過ノ支出ヲ致シマシテ金額ガ、九

百九十七万一千六百餘圓ニ相成ツテ居リマス、右ノ外各特別會計ニ於キマシテモ、亦
急避クベカラザルモノト致シマシテ、支出ヲ致シマシタ次第ニアリマシテ、諸

○議長(大岡育造君) 御異議ガナケレバ三讀會ヲ省略シテ可決確定シタルコトヲ宣告致シマス——日程第七、日程第八、日程第九、右二案ヲ一括シテ第一讀會ヲ開キ三議案全部ヲ議題ト致シマス

第七 刑法中改正法律案(赤尾彦作君提出)

第一讀會 第八 人權保護ニ關スル法律案(高木益太郎君提出) 第二讀會 第九 刑事訴訟法中改正法律案(高木益太郎君提出) 第二讀會

○岩崎勳君 本員ハ茲ニ此二案ヲ併合シテ「ノ修正動議ヲ提出致シマス、即チ標題ヲ「裁判檢察及警察ノ職務ヲ行ヒ又ハ之ヲ補助スル者ノ所罰ニ關スル法律案」ト改メシテ、本文ヲ「裁判檢察及警察ノ職務ヲ行ヒ又ハ之ヲ補助スル者其ノ職務ヲ行フニ當リ詐言ヲ用井若クハ恐嚇ヲ加ヘタル時ハ六月以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス」斯様ニ改メタイト云フノアリマス、其理由ハ委員會ニ於ケル修正ノ議決ハ、第一讀會ノ際ニ於キマシテ、中西六三郎君ノ質疑ニ依テ詳述セラレマシタ如クニ、規定が餘リニ廣汎ニ失シテ、解釋適用上甚ダ困難ヲ生ズルコト多イト云フコトヲ虞ル、ノアリマス、ソレ故ニ規定ヲ極メテ簡明直截ニ致シマシテ、且ソ二案ノ趣意ヲ貫カん爲ニ茲ニ此修正案ヲ提出スル次第ニアリマス、何卒滿場ノ御贊同ヲ仰ギマス

〔賛成々々ト呼フ者アリ〕

○議長(大岡育造君) 此修正ハ贊成者ガアリマスカラ成立致シマシタ——別ニ討論ガ無ケレバ決ヲ採リマス、岩崎君ノ修正ニ付テ先づ決ヲ採リマス、岩崎君ノ修正ニ御同意ノ諸君ノ起立ヲ求メマス

起立者 多數

○議長(大岡育造君) 多數——岩崎君ノ修正通リニ二讀會ハ決シマシタ

○岩崎勳君 直チニ本案ノ三讀會ヲ開キ、第一讀會ニ於テノ議決通り可決確定セラレシコトヲ希望致シマス

○議長(大岡育造君) 岩崎君ノ動議ニ御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(大岡育造君) 御異議ガナケレバ直チニ三讀會ヲ開キ議案ノ全部ヲ議題ト致シマス

裁判檢察及警察ノ職務ヲ行ヒ又ハ之ヲ補助スル者ノ所罰 第二讀會
ニ關スル法律案

○議長(大岡育造君) 御異議アリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(大岡育造君) 御異議ナシト認メマス、仍テ本案ハ可決確定シタルコトヲ宣告致シマス、日程第十、神祇ニ關スル特別官衛設置建議案ヲ議題ト致シマス、提出者岩崎勳君

第十 神祇ニ關スル特別官衛設置建議案(岩崎勳君外十三名提出)

神祇ニ關スル特別官衛設置建議案

祭政一致ハ我國體ノ精華ニシテ敬神崇祖ハ我教育ノ淵源ナルヲ以テ政府ハ内務陸軍海軍ノ二省朝鮮臺灣兩總督府及樺太廳所管ノ神社行政ヲ統一シ左記事項ヲ管掌セシムルカ爲神祇ニ關スル特別官衛ヲ設置スヘシ

神祇ニ關スル特別官衛設置建議案

神祇ニ關スル特別官衛設置建議案

神社修造ニ關スル件

神官神職任免ニ關スル件

神官神職養成ニ關スル件

神社調查ニ關スル件

雅樂ニ關スル件

公的禮式ニ關スル件

其ノ他神祇ニ關スル一切ノ件

右建議ス

〔岩崎勳君登壇〕

〔拍手起ル〕

○岩崎勳君 諸君、本員ハ茲ニ本案提出ノ理由ヲ極メテ簡明ニ申述べル積リニアリマス、本案ハ各派有志十四名ノ連署提出ニ係リテ居リマス、而シテ又各派多數有志ニ關スル極メテ重要ナル問題アリマス、抑々我國ニ於キマシテハ御承知ノ通り、政治即チ祭事アリマスマツリゴト即チ祭事アリマス、即チ祭政一致ハ我國家創始ノ時代ヨリ、歷代不變ノ原則與例アリマシテ、明治大正ノ御代ニ至ル迄、我國體ノ精華トヤラレテ居リマス、之ニ伴フ敬神崇祖ノ觀念ハ實ニ我國民性ノ樞軸ヲ爲シテ居ルモノニアリマス、中世一切ノ制度ヲ隋唐ニ模倣セル時代ニ於キマシテモ、亦戰亂ノ世、武門政

ヲ執リテ居リマス時代ニ於キマシテモ、尙且此國風ヲ曲ゲタルコトハ無イノアリマス、而シテ王政維新ノ後ニ數次ノ變遷ヲ經マシテ、纔ニ内務省ノ一部局トシテ社寺局ヲ設ケマシテ、宗教ト併セテ神社行政ヲ管掌セシメタノアリマスガ、甚ダ外觀振ハザルが如キ有様アリマシタノハ、蓋シ歐米崇拜ノ餘波ヲ受ケタル結果デハアルマイカト思ハレルノアリマス、日清日露兩戰役ノ後、敬神崇祖ノ觀念が鬱然トシテ振興シマシテ、政府ハ本院ノ建議ニ基キマシテ神社局ヲ特設シテ、之ヲ内務省各局ノ主班ニ置キマシテ、行政下區別致シマスガ、其規模甚ダ狹少アリマシテ、職員ノ數ハ大臣官房ノ一課ニダモ及バザルガ如キ有様アリタノアリマス、其所管ハ又纏ニ神社會計ノ

監督ト、神官神職ノ任免ヲ掌ルニ止シテ居ツタノアリマシテ、固ヨリ國家風教ノ源泉タル祭祀典例ノ重任ニ堪フベキモナカッタノアリマス、今ヤ前古未曾有ノ大戰亂ニ遭遇致シマシテ、内外人心ノ動搖ハ實ニ容易ナラザル有様アリマス、我大和民族ノ國民性ニ對シマシテ、重大ナル時機ニ際會シテ居ルコト、信スルノアリマス、政府モ亦之ニ鑑ミマシテ、或ハ義務教育費國庫負擔ヲ提案シ、化學工業ノ作興ニ昂メ、今又軍需工業動員法案ノ審議ヲ求ムラウナコトハ致シテ居リマスガ、未ク以テ我大和民族ノ國民性ヲ振興發揚スルコトニ關シテ、徹底シタル施設アリト云フコトハ出來ナイノアリマス、本員等ノ理想トスル所ハ、更ニ進シテ國民形而上ノ施設ニ及ビ、以テ皇運ヲ扶翼シ國運ノ進展ヲ圖リ、萬代不易萬邦無比ノ我國體ヲ保持發揚セント欲スルノニアルノアリマス、而シテ神社ハ實ニ是等國民性ニ關スル我帝國ノ國家的要件ヲ、歴史的且ツ具體的ニ表現スル所ノモノアリマス、是が爲ニ其行政ヲ統一シテ、特別ノ官衛ヲ設置シ、其能率ヲ増進セシムルコトハ、實ニ工業動員産業動員ニモ増シテ重要ナル問題デアリマス、是レ眞ニ我國民性ニ對スル動員トモ稱ズベキ問題デアリマス、神祇ニ關スル特別官衛設立ノ議ハ、本院ニ於キマシテモ屢々繰返サレタル所ニアリマシテ、既ニ滿場一致ヲ以テ其建計ヲ可決シタルコトモアルノアリマス、然ルニ今日迄事情ノ許サザルモノガアリマシテ、神社行政ノ統一ヲ見ルコトノ出來ナイノハ、本員等ノ甚ダ遺憾トスル所ニアリマス、神宮及神社ノ大部分ハ内務省神社局ノ所管アリマスガ、別格官幣大社樺太神社ハ樺太廳ニ、各別箇ノ行政系統ニ屬シ、近ク官幣大社朝鮮神宮創立ノ曉ニ於テハ、朝鮮總督府ノ所管タラント致シテ居ルノアリマス、斯ノ如キハ決シテ我國民性ヲ統一すべき施設ト云フコトハ出來ナイノアリマシテ、即チ神社行政ノ統一ヲ要スル所以ノ理由トナルノアリマス、祭祀即チ祭事ハ國家ノ重典アリマシテ、其行事作法ハ國民道德ノ規準トナルノアリマス、之ニ關シテハ内務省神社局管掌ノ下ニ一部規定セラレテ居ル所ハアリマスガ、是亦盡サザル所ガ甚ダ多イノアリマス、神社費ニ關スル事、神社造修ニ關スル事モ亦遺憾甚ダ多キラ思フモノアリマス、神官神職ノ任免ニ關スル事項ハ、内務省神社局ニ於テ管掌スル所ハアリマスガ、更ニ一層其銓衡ニ注意スルノ必要ヲ要スル事柄アリマス、神官神職ノ養成ニ關スル施設モ亦萎微トシテ振ハザル有様アリマシテ、將來ニ對シ是等モ亦憂慮ニ堪ヘザル事柄アリマス、神社調査ニ關スル事項モ粗漏杜撰ノ憾が無イデハアリマス、其他雅樂ニ關スル事、公の禮式ニ關スル事等ハ、更ニ一大ナル改善ヲ要スル事柄アルト信ズルノアリマス、是亦本案提出ヲ要スル理由ノ一ツアリマス、諸君、今ヤ世界共同ノ敵タル獨逸ノ勢力ヘ、露國ノ屈伏ニ因リテ東漸シ、早晚干戈ノ間ニ於テカ、或ハ生存競争場裡ニ於テカ、彼ト我トノ大衝突ハ遂ニ免ルカラザルノ勢ヒヲ爲シテ居ルノアリマス、此時ニ膺リ、彼獨逸國が此大時局ヲ支持スルが爲ニ、而シテ其勝利ノ目的ヲ貫カンガ爲ニ、殆ド國家ノ表裏内外ノ全部ニ瓦ツテ大勳員ヲ決行致シマシテ、全國家ヲ譽ゲテ其大目的貫徹ノ一點ニ集注セシメテ居ル事柄ハ、敵ナガラモ實ニ侮ルベカラザルモノガアルト信ズルノアリマス

ス、本員等ハ是等過去及現在ノ事蹟ニ鑑ミマシテ、深ク現在及將來ヲ考慮スルガ爲ニ、先づ我ガ大和民族ノ國民性ニ對スル大動員ノ先驅トシテ、爰ニ本案ヲ提出スル所以アリマス、切ニ滿堂諸君ノ御賛同ヲ仰ギマス
○廣岡宇一郎君 本案ハ議長指名十八名ノ委員ニ付託セシメラレムコトノ動議ヲ提出致シマス

〔「贊成」ト呼フ者アリ〕

○議長(大岡育造君) 廣岡君ノ動議ニ御異議ハナイト認メマス、仍テ本案ハ議長指名十八名ノ委員ニ付託スルニ決シマス

○吉田中君 重要物產組合法中改正法律案ノ委員會ヲ開キマス、御許可ヲ…

○岩崎勲君 日程第十一、第十二ハ提案者ノ都合ニ依リマシテ、延期セラレムコトヲ希望致シマス

○議長(大岡育造君) 日程第十一、第十二ニ付テハ延期ノ動議が出マシタ、御異議ハアリマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(大岡育造君) ニッナガラ御異議ハナイト思ヒマス、仍テ延期ニ決シマシタ、日程第十二、第十四ノ議案ハ一括議題ト爲スニ御異議ハアリマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(大岡育造君) 御異議ハナイト認メマス、一括議題ト致シマス、日程第十二、不動產金融改善ニ關スル建議案、第十四、普通銀行ノ金融ニ關スル建議案、提出者小山松壽君

第十三 不動產金融改善ニ關スル建議案(小山松壽君外二名 提出)

不動產金融改善ニ關スル建議案

不動產金融改善ニ關スル建議

政府ハ普通銀行(貯蓄銀行ヲ含ム)ノ不動產抵當債權ニ對シ融通ノ途ヲ開キ地方金融ノ圓滑ヲ計ル爲日本勸業銀行法及農工銀行法ノ改正ヲ爲スヘシ

右建議ス

第十四 普通銀行ノ金融ニ關スル建議案(堀川美哉君外六名 提出)

普通銀行ノ金融ニ關スル建議

普通銀行ノ金融ニ關スル建議案

政府ハ日本勸業銀行法及農工銀行法ニ規定セル債權擔保貸付ノ如キ方法ニ依リ普通銀行(貯蓄銀行ヲ含ム)ノ不動產抵當權ニ對シ兩銀行ヨリ資金融通ノ途ヲ開

クヘシ

右建議ス

○小山松壽君 諸君、本案提出ノ理由ヲ説明致シタトイ思ヒマス、不動産金融改

善ニ關スル此問題ハ、久シキ問題デアリマシテ、即チ普通銀行ガ現ニ有シ若クハ將來有セムタル不動産ノ擔保權ヲ以テ、金融ノ途ヲ開キタイト云フコトノ目的デアリマス、第一ト致シマシテハ、普通ノ銀行ガ現ニ所有致シテ居リマスル不動産ノ擔保權ハ、三億八千万圓ト云フコトニ最近ノ調査ニナツテ居リマス、是ハ孰レノ所ニモ融通ノ途ガアリマセヌノデ、現ニ固定致シテ居ルノデアリマスカラ、此金融財界ノ上カラ見マシテモ、此途ヲ開キタイ、而シテ即チ持ッテ居リマスル擔保權ヲ資金化スルト云フコトノ趣旨ニ依ルノガ一ツアリマス、第一ト致シマシテハ、農村振興ト云フ聲ガ年ト共ニ囂シクナツテ居ルノデアリマスケレモ、而モ其實が遲々トシテ舉リマセヌ、是ハ如何ナル理由デアルカト申シマスルト其原因ハ多々アリマセウ、固ヨリ一ツテハナイト考ヘマスルガ、我國ノ不動産金融ノ最近ノ調査ニ依リマスレバ、不動産擔保ニナツテ居ルモノガ十五億ニ達シテ居リマス、而シテ其十五億ノ中、唯今申上ゲマシタ普通銀行ノ現ニ有シテ居リマスルモノガ二億八千万圓、ソレカラ勸業、農工、拓殖、三銀行ノ貸出ニナツテ居リマスルモノガ三億二千万圓、併セテ七億万圓、即チ十五億中七億圓ト云フモノヲ差引マシタ残り八億、此八億ト云フモノガドウ云フ風ニ貸出サレテ居ルカト申シマスルト、是ハ所謂個人ノ金貸業、是等ノ人ニ依テ融通ノ途ヲ爲シテ居ルノデアリマスカラ、隨ツテ金利ハ高率デアリマス、殊ニ甚シキモノモアリマスルガ、是ハ平均ヲ致シマスルト一割二分ニ當ツテ居リマス、是等ハ全ク農村ノ振興ガ金融ノ疏通ヲ缺キ、金利ノ高率デアルト云フコトノ結果ト致シマシテ、振興運タルモノデアルト云フコトハ、爭ヘ又理由ノ一ツニナツテ居ルノデアリマス、是ガ即チ第一ノ理由デアリマス、然ラバ之ラドウスルカト云フコトハ、第二ノ問題ニナルノデアリマスガ、此普通銀行ガ有シテ居リマスル約四億ニ近イモノ、是ハ最近十年間ノ統計ニ依テ見マスルト、年々三千万圓宛ノ増加ニナツテ居リマス、尙此勢ハ益、其率ヲ増サウト云フ事情ノ下ニアルノデアリマスカラ、之ヲ資金化スルニハ、即チ銀行法ノ日本勸業銀行及農工銀行ノ、此兩銀行法ヲ改正致シマシテ、普通銀行ガ一方ニ於テ日本銀行ニ對シテ融通ノ途ヲ得テ居リマスル同時ニ、他ニ於テ勸業銀行ニ此融通ノ途ヲ得セシメ、即チ右翼ニ日本銀行アリ、左翼ニ勸業銀行アリ、此ノ兩翼ヲ全カラシメテ、不動産債券擔保ノ固定シテ居リマスルモノヲ、資金化セムト云フコトノ趣旨ガ、本案ヲ提出致シマシタ大體ノ理由デアリマス、此事ハ衆議院ノ各派ニ於テ、有志諸君ノ御研究ニナツテ居リマスル農村——農政研究會等ニ於カレマシテモ、十分ニ審議ヲ盡シラセマシタ問題デアリマシテ、而モ全國ノ銀行ノ最大多數——僅ニ東京大阪ノ一部ノ人ハ此議ニ與カラズ者モアリマスルガ、最大多數ノ希望デアリマシテ、是ハ殊ニ此戰後經營農村ノ振興、農村ノ產業ヲ發達セシムルト云フコトニ、至大ノ關係ヲ有スルモノデアリマスルカラ、何卒諸君ノ御賛成ヲ得マシテ、本建議案ヲシテ成立セシメ、一日モ速ニ此趣旨ヲ達スルヤウニ致シタトイ云フコトヲ、切望ニ堪ヘメ次第アリマス

(拍手起ル)

○議長(大岡育造君) 堀川君

(堀川美哉君登壇)

(拍手起ル)

○堀川美哉君 唯今小山松壽君ヨリ説明セラレマシタル所ト、略、同一、否殆ド全ク同一ノ建議デアリマスルカラ、私ハ極メテ簡單ニ其要旨ヲ述べタトイ思フノデアリマス、本員等ノ建議致シマスル所ノ要旨ハ、之ヲ要スルニ普通銀行ガ不動産擔保ヲ以テ貸付ケテアリマスル所ノ、其貸付金ヲ資金化シタトイ、即チ其不動産債權及抵當權ヲ再擔保ト致シマシテ、勸業銀行及農工銀行ヨリ資金ノ融通ヲ受ケタイ、就テハ政府ハ勸業銀行及農工銀行法ヲ改正シテ、普通銀行ニ對シテ斯ノ如キ貸付ヲ爲シ得ルヤウニセラレタヽ、斯ウ云フ事ヲ建議スルノデアリマス、誤解ヲ避ケマスル爲ニ、私ハ此建議ノ目的ヲ聊カ述ベタイノデアリマス、本員等建議ノ目的ハ、銀行業者ノ救濟ト云フ意味デハナイノデアリマス、寧ロ吾々ハ之ニ依テ地方ノ沈哀セル所ノ金融界ヲ振興シタトイ、中央ニ於ケル横溢セル資金ヲ、振ハザル所ノ地方ニ之ヲ廻シテカラニ、都鄙金融ノ調節ヲ圖リタイ、都會ノ金利ト地方ノ金利トハ非常ナ差ガアル、其差ヲ接近セシメタイ、斯ウ言フノガ即チ本員ノ建議ノ目的デアリマス、而シテ其一方法トシテ——一ツノ方法トシテ此普通銀行ガ有スル所ノ不動産貸付ヲ資金化シタトイ云フノガ、即チ本員等ノ目的デアリマス、此事情ヲ申シマスルニ付キマシテ、現在普通銀行ガ貸付ケテアリマスル所ノ資金ノ狀態ヲ見マスルニ、現在普通銀行ガ九億二千万圓ト云フ貸付ヲ爲シテ居ルノデアリマス、是ハ大正四年末ノ調デアリマス、其中約三億八千万圓ト云フノガ、即チ本員等ノ目的デアリマス、此不動産ニ對シテ貸付ケテアル、是ガ現在停滯シテ貸付割合ヲ以テ増加シツ、アルノデアリマス、年々三千万圓ノ割合ヲ以テ——故ニ現在ニ於ケテ居ルノデアリマス、而シテ此割合ハ小山君モ言ハレマシタガ如ク、年々約三千万圓ノ割合ヲ以テ増加シツ、アルノデアリマス、年々三千万圓ノ割合ヲ以テ——故ニ現在ニ於ケテ居ルノデアリマス、普通ノ銀行業務ニ關スル思想カラ言ヒマスレバ、普通銀行即チ預金銀行ガ、不動産ニ對シテ貸付ヲ爲スト云フコトハ、而シテ餘リニ多額ノ貸付ヲ爲スト云フコトハ、甚ダ不謹慎ナコトデアル、預金銀行アル所ノ普通銀行ハ、其性質上努メテ短期ノ貸付ヲ爲スベキモノデアル、斯ク言ハレル人モアルノデアリマス、而シテ此說ハ現在ニ於ケル銀行論ノ學者、或ハ又從來ノ銀行ニ關スル業務ノ學說ヲ唱ヘラレル人モ說デアリマス、併ナガラ日本ノ實際ノ狀況ハ如何デアルカト云ヒマスルト、約九億二千万圓中ニ於テ、普通銀行ガ四億内外ノ不動産貸付ヲ爲スト云フ程ニ、此不動産貸付資金ノ需要ガ多イノデアリマス、現在東京、大阪、京都、神戸、名古屋、横濱ト云ヒマスルガ如ク六大都市ノ大銀行家ヲ除ク其他ノ小銀行家ハ、何ヲ以テ資金ノ融通ヲ爲スカト云ヘバ、主トシテ不動産デアリマス、而シテ此普通銀行ヲ利用スル所ノ地方ノ企業家モ、何ヲ以テ資金ノ融通ヲ圖ルト言ヒマスレバ、彼等ハ不動産以外ニ有能ナル抵當物ヲ持タヌノデアリマス、此ニ於テカ、ドウシテモ不動産抵當資金ト云フコトガ、地方銀行業務ノ重要ナル職務トナルノデアリマス、此重要ナル職務ヲ閑却シテ、單ニ短期ノ證券貸付、或ハ信用貸付ノミニ依頼シヤウトシタナラバ、地方銀行ハ其地

方ニ於ケル銀行業者トシテノ機能ヲ完全ニ盡スコトが出來ナイノニアリマス、地方ノ企業
ノモニ亦此不動産抵當貸付ニ依ラシテ、資金ノ融通ヲ十分ニ受ケルト云フ事へ出來ナ
イノニアリマス、ソコテ此地方銀行、先程カラ申シマスルガ如ク、四億内外ノ不動産貸付
ヲ爲シテ居リマス所ノ地方銀行ハ、如何ナル狀態ニアルカト云ヘバ、殆ド是ハ孤立無援
ノ狀態ニアルノニアリマス、何が故ニ孤立無援デアルカ、普通銀行ノ親銀行ハ日本銀行
デアル、日本銀行ハ此等ノ銀行ニ對シテ知何ニシテ親銀行タルノ實ヲ盡スカト申シマス
ケレバ、日本銀行ニハ見返擔保ノ制度ガアリマス、併ナガラ本員が先刻カラ申シマスルガ
如クニ、地方銀行ニ於テハ此日本銀行が、認メテ以テ見返擔保トシテ取ル文ノ確實ナ
ル證券ヲ持タナイ、若シ普通銀行が證券ヲ持ッテ居ツタシテモ、其證券ナルモノニハ、日
本銀行が到底之ニ對シテ資金ノ融通ヲ爲サナイノニアリマス、而シテ地方銀行が最モ確
實ナル貸付ハ何ナルカト言ヘバ、不動産貸付アル〔「簡單」ト呼フ者アリ〕此ニ於テカ
普通銀行ノ不動産貸付ニ對シテハ、何等資金化ノ途が無い、彼等ノ有スル證券ハ極
メテ少額デアル、或ハ極メテ微々タルモノナル原因ナリト本員ハ考ヘルノニアリマス、此ニ於テカ日本銀行
ヨリモ融通ヲ受クルコトガ出來ナイ、即チ普通銀行ハ現ニ孤立無援ノ狀態デアル、殆
ド孤立無援ノ狀態ニアルト云フコトガ、是レ抑、我日本ノ地方ノ金融狀態ヲシテ、萎靡
沈衰セシムル所ノ重大ナル原因ナリト本員ハ考ヘルノニアリマス、此理由ニ依リマシテ、
本員ハ普通銀行ノ有スル所ノ不動産貸付、之ニ對シテ勸業銀行及農工銀行が資金ノ
融通ヲ爲シ得ルヤウ、此等兩銀行法ヲ改正セラレタイ、斯ク建議スルノニアリマス、或ハ
曰ク、勸業銀行及農工銀行ニ於テハ斯ノ如キ資金が無い、四億ニ近イ所ノ此不動產
藏省預金部ニハ、四億内外ノ預金ガアルノニアリマス、此四億圓ノ資金ハ何ナルカ、是
ハ悉ク地方ノ零碎ノ資金ヲ集メタモノアル、地方ヨリ流レ込ンダモノナル、之ヲ大藏
省が財政上ノ道練ニ使ヒ、或ハ其大部分ヲ舉ゲテ海外ノ證券ヲ所有スルト云フガ如キ
ハ、抑、誤ツタル手段デアル、之ヲ地方ニ融通シテ、勸業銀行及農工銀行ニ融通シ、或
ハ勸業債券、農工債券ヲ以テ、而シテ此資金ヲ以テ地方ノ銀行ノ有スル所ノ不動產
貸付ノ資金ニ融通スル、斯ノ如キ途ヲ開カレルノモ、一ノ方法デアラウト思ヒマス、諸君
モ御承知ノ如ク、地方ノ經濟狀態ハドウ云フ狀態アルカト云ヘバ、租稅ノ増加ト郵
便貯金ノ吸收、ソレカラ保険會社ノ活動ト云フガ如キ、種々ノ原因ニ依リマシテ、地方
資金ハ益々中央ニ集中サレルト云フ、狀態ニ在ルノニアリマス、斯ノ如キ場合ニ於キマシ
テ、何トカシテ本員等ハ都節金融ノ調節ヲ圖リタイ、中央ニ横溢セル資金ヲ地方ニ廻
フ開キタイト云フノガ、本員等ノ建議ノ趣意ニアリマス、何卒滿堂ノ御賛同ヲ仰ゲ次第

○議長(大岡育造君) 高橋本吉君

高橋本吉君登壇

○高橋本吉君 本案ノ提出者ニ對シテ、極メテ簡單ニ質問シテ、明瞭ニ致シタイ點ガアルノデアリマス、本案ト同一ノ事柄ハ、今爰ニ提出サレタ諸君ニ依テ紹介サレテ請願ニモナシテ居リマシテ、本員ハ之ニ對シテハ、多大ノ敬意ヲ拂ツテ研究シテ居ルノデアリマス、地方ノ金融ヲ圓滑ニスル、中央ニ有り餘ダ金ヲ以テ地方ニ注グ、是丈ノ趣旨ニ於テハ本員ヲ雙手ヲ擧ゲテ歡迎スル者デアリマスガ、爰ニ一ツ之ヲ明瞭ニシテ置キタイト思フ點ハ、勸業銀行又ハ農工銀行ハ、本來ノ使命ト致シマシテ、農工業者ニ對シテ起業ノ資金ヲ供給スル、而モ之ヲ低利、長期ノ貸付ニ依テ供給スルト云ノガ本來ノ使命ニアリマス、今本案ヲ提出サレタ御方ノノ説明ヲ承ツテ見マスルト云フト、金融調節ノ目的デアルト仰シヤイマスケレドモ、ソレガ勸業銀行又ハ農工銀行ノ本來ノ使命ヲ尊重シテ、此案ヲ御提出ニナシタノデアリマスカ、或ハ勸業銀行ハ其創立以來今日マデ色々ノ變遷ヲ經テ居ルカラ、最早今日ニ於テハ、之ヲ以テ一般抵當銀行ト看做シテモ宜イ時機ニ在ルト云フ御考ノ立場ニ立ツテ居ラレルカ、是ハ本案ノ採否ニ取リマシテ、將來殊ニ吾々が最モ望ム所ノ農工資金ノ調達ニ、大ナル影響ノアル問題ト思ヒマスカラ、之ヲ明カニシナイト恩フノデアリマス、小山君ノ御説明ニ於テハ、三億八千万圓ト云フモノヲ既ニ不動産ニ放資サレテ居ル、ソレヲ今日カラ引上ゲテ融通ヲ付ケテ行クヤウニ仰シヤイマシタ、ソレカラ堀川君ノ御説明ヲ伺シテ見マスルト、其時期ニ付テハ何等ノ事モ仰セラレテナイ、是ハ如何ナル時ニ於テ、其三億八千万圓、或ハ三億八千万圓ノ中ノ幾部分ヲ、今直ニ勸業銀行カラ借換ヘタイ、或ハ又農工銀行カラ借換ヘタイト云フノデアリマスカ、又モウ一つ明ニシタノハ、農工銀行ハ果シテ斯ウ云フ事ニ融通スルニ可能ナル狀態デアルカト云フコトヲ、明カニシテ置キタイト思フ、堀川君ノ御説明中ニ、是ハ銀行救済ノ目的デハナイ、主トシテ地方ニ向シテノ金融ノ爲デアルト仰セラレタガ、段々ノ御説明中ニ、普通銀行ト云フモノハ孤立無援ノ狀態ニ在ル、極メテ普通銀行ニ御同情デアル、ワレカラ又小山君ノ御説明ニ依ルト是ト違ヒマシテ、普通銀行ハ右ニ日本銀行ヲ控ヘテ居ル、今度左ニ勸業銀行ヲ捉ヘルコトが出來レバ、兩翼ヲ具シテ雄飛スルニ宜イト云フ御考ノヤウデアリマス、而シテ是ハ斯ノ如クナシタ曉ニ於テハ、農工銀行ニ是ガ如何ナル影響ヲ及ボスペキモノノアルカト云フコトハ、大ニ考ヘナケレバナラヌ點ト思ヒマス、デアリマスルカラ若シ此案ノ出方ニ依リマシテハ、是ガ勸業銀行及農工銀行ノ創立ノ趣旨ニ、變化ヲ與ヘルコトニナルト考ヘラレルノデアリマス、ソレ故ニ此點丈ヲ明瞭ニシテ置キタイト思フノデアリマス

官報號外

大正七年二月十日

衆議院議事速記錄第二十一號

普通銀行ノ金融ニ關スル建議案

マス、第一三高橋君ハ、如何ナル時期ニ於テ幾何ヲ融通スルカ、小山君ノ建議ト本員ノ建議ト、間ニ相違ガアル、斯ウ言ハレタノデアリマス、無論説明ニハ不完全ナ所モアリセウシ、殊ニ小山君ト本員トノ間ニ相違ハアルカモ知レマセヌガ、本員等ハ斯ク考ヘテ居リマス、即チ資金ノ融通ト云フコトニ於キマシテハ、是ハ銀行家ノ自制ト、サウシテ其地方ノ要求トニ依ルベキモノニアリマシテ、現ニ四億内外ノ不動産貸付ガシテアルノヲ一時ニ融通セヨ、斯ク言フノデハアリマセヌ、其必要ニ應シテ徐ロニ融通ノ途ヲ開ケバ宜シイ、而シテ政府ハ此法律ヲ改正スルノ時機ニ付キマシテハ、出來得ル限リ速ニト云フコトヲ希望スルノデアリマス、今直ニト云フ意味デハアリマセヌ、出來得ル限リ速ニ此法律ヲ改正シテ、普通銀行ニ對シテ資金ノ融通ノ出來得ルヤウニセラレタイ、斯ク建議スルノデアリマス、第三ニ地方金融ノ目的ニ付キマシテ、私ハ本建議ハ銀行ノ救濟デハナイト申シマシタ、無論吾ミノ目的ハ銀行救濟ノ目的デハナインデアリマス、併ナガラ地方金融ヲ圓滑ニスルガ爲ニハ、地方ニ於キマシテ金融上ノ重要ナル職務ヲ有シテ居リマス、地方銀行ニ對シテ、資金ノ融通ヲ爲スコトガ、即チ地方ニ於ケル金融調節ノ根本トナルノデアリマス、故ニ本員ハ必ずシモ銀行家救濟ノ途デハナイガ、併ナガラ主トシテ地方ノ金融ノ調節ヲ圖ル、斯ク申シタノデアリマス、以上ノ如クダト思ヒマス、尙ホ御質問が有レバ……

○小山松壽君 高橋君ノ御尋ニ對シテ 堀川君カラニツノ要領ヲ御答ニナリマシタガ、最後ニ一ツ残シテ居ルノガアリマス、是ハ私カラ御答致シマス、若シ本建議ノ趣旨ヲ實現スルナラバ、農工銀行ノ營業ヲ侵害シハシナイカト、斯ウ云フ御問ノヤウニ承リマシタ、是ハ隨分重大ナ問題デアリマシテ、傳フル所ニ依リマスレバ、政府ハ勸業銀行及農工

銀行ノ兩銀行合併ニ關スル法律案ヲ、當議會ニ提出スルヤニ傳ヘラレテ居ッタノデアリマスガ、其間ノ事情ハ如何デアリマスカ、現ニマダ其法案ハ出テ參リマセヌ、併ナガラ是ハ重大ナ懸案トシテ審議サレテ居ルコト、存ジマス、若シ右法案ヲ當議會ニ提出サレ、若クハ將來ニ提出サレル場合ニ於キマシテ、之ガ實現スル事ニナリマスルト、本員等が茲ニ建議ヲ致シテ居リマスル問題ニ、直チニ關係ヲ及ボシテホルノデアリマス、若シ斯ウ云フ法律案ガ將來成立致シマスレバ、此農工銀行ニ對シテ云々ト云フ御質問ハ隨シテ消滅スルノデアリマスガ、現在ニ存シテ居ル法律ノ上カラ見テ、其營業權ヲ侵害シハシナイカトニフヤウナ御話デアリマス、質問者ハ第一問ニ於テ、勸業銀行及農工銀行ハ其貸出ガ低利デアッテ、而シテ長期デアルト云フ事ノ御了解ガアリマシタ、私モ左様ニ信シテ居リマス、所ガ普通ノ銀行ノ方ハ貸出ハ短期デアッテ、決シテ長期ノモノハ好ミマセヌ、又長期ノモノハ營業ガ許シマセヌ、金利モ差ガ有リマス、故ニ此營業機能ノ發揮ノ上カトニフヤウナ御話デアリマス、質問者ハ第一問ニ於テ、勸業銀行及農工銀行ハ其貸

○議長(大岡育造君) 岩崎君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ
○議長(大岡育造君) 御異議が無ケレバ此ノ兩案ハ、議長指名十八名ノ委員ニ付託スルコトニ決シマシタ——日程第十五、陰陽連絡廣江鐵道速成ニ關スル建議案ヲ議題ト致シマス——委員長米田穰君

第十五 陰陽連絡廣江鐵道速成ニ關スル建議案 (委員長報告)

○西田銳吉君 (恒松隆慶君提出)
○西田銳吉君 議長、私が代々報告致シマス

○議長(大岡育造君) 西田君

(西田銳吉君登壇)

○西田銳吉君 過日米田委員長が缺席デアリマシタカラ、本員ヨリ御報告致シマス、此案ハ廣島カラシテ島根縣ノ江津ト云フ所迄、鐵道ヲ敷設シテ貰ヒタイトニ云フ建議デアリマス、若シ直ニ此線路ノ敷設ニ著手スルコトが出來ナイト云フ事デアルナラバ、廣島カラ二次迄敷設セラレテアル所ノ輕便鐵道ヲ利用シテ、二次カラ江津迄速成セラレタイト云フノガ本案ノ趣意デアリマス、委員會ニ於キマシテハ政府ノ意旨ヲ尋ねマシタ所ガ、陸軍省ノ政府委員ハ、軍事上最モ必要ナル線路ナリト答ヘ、又鐵道院ノ政府委員モ、陰陽連絡線トシテ洵ニ必要ナル線路デアルト認メテ居ルト云フ答辯デアリマシタ、慎重考慮ノ末滿場一致ヲ以テ可決致シマシタ、此段御報告致シマス(拍手起ル)

○岩崎勲君 議長

(岩崎君登壇)

○議長(大岡育造君) 岩崎君
○議長(大岡育造君) 本案ハ委員會ニ於テ決定通り可決セラレムコトヲ希望致シマス

○議長(大岡育造君) 御異議アリマセヌカ
(「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(大岡育造君) 御異議ナケレバ委員長報告通り可決致シマシタ——日程第十六、輸出綿織物検査所設置ニ關スル建議案 (委員長報告)
(西田邊熊一君登壇)

○西田邊熊一君 第十六 輸出綿織物検査所設置ニ關スル建議案 (委員長報告)

○西田邊熊一君 本案委員會ノ經過並ニ結果ノ御報告ヲ致シマス、本案ハ歐洲戰亂勃發以來、我織物ノ輸出ハ著シク發展致シマシテ、我輸出貿易中第三位ヲ占ムニ至リマシタ、其金額ハ一億二千七百万圓ノ巨額ニ上ツタノデアリマス、洵ニ國家ノ爲メニ慶賀ニ堪ヘヌ次第アリマス、然ルニ早クモ我製品ガ、一部ニ於テ粗製濫造ノ聲ガ起フ

○岩崎勲君 兩案ヲ一括シテ、議長指名ヲ以テ、特ニ十八名ノ委員ニ付託セラレムコトヲ希望致シマス

○議長(大岡育造君) 岩崎君

○議長(大岡育造君) 兩案ヲ一括シテ、議長指名ヲ以テ、特ニ十八名ノ委員ニ付託セラレムコトヲ希望致シマス

〔「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

ト思ヒマス、委員會ハ重要ナ問題トシテ政府委員ノ出席ヲ求メテ、慎重ニ審議ヲ致シマシテ、豫テ御手許ニ御配付申上ゲマシタ如ク、修正案ヲ可決致シタ譯アリマス、其内容ハ輸出綿織物ノ検査所ヲ建テルト云フ事アリマスが故ニ、先ツ當業者ノ自覺自省ニ待タケレバナラヌコトハ勿論アリマスガ、政府モ之ニ向テ嚴重ノ監督ヲシナケレバナラヌ故ニ、先ツ產地及輸出港ニ於テ検査所ヲ設置スル事ニ致シマシテ、此產地ニハ地方團體同業組合、若クハ同業組合聯合會等ニ於テ、検査ヲ希望スル心持ガ無ケレバナラヌノアリマスルガ故ニ、政府ハ之ニ勸誘シテ其検査所ヲ設置セシムル、サウシテ相當ノ補助金ヲ之ニ與ヘル、検査員ハ公平ヲ保タンガ爲メニ、政府ガ其検査員ヲ任命スルコトニ致シタノアリマス、一定ノ標準ヲ示シマシテ、即チ内訓ヲ以テ一定ノ標準ヲ示シ、嚴重ノ検査ヲシテ、省令ヲ以テ其合格品ニ非ザルモノ、輸出ヲ禁ズルト云フ政府ノ意猶アリマス、委員會ハ満場一致ヲ以テ修正可決致シタノアリマスカラ、政府ニ同意ヲ求メタル所、政府委員モ全然之ニ同意ノ旨ヲ言明致シマシタ、右ノ次第アリマスガ故ニ、今日ノ場合ニ於テ願クベ我輸出獎勵ノ爲メニ、満場諸君ノ一致御賛成アラムコトヲ希望致シマス

ト思ヒマス、委員會ハ重要ナ問題トシテ政府委員ノ出席ヲ求メテ、慎重ニ審議ヲ致シテ、豫テ御手許ニ御配付申上グマシタ如ク、修正案ヲ可決致シタ譯アリマス、其内容ハ輸出綿織物ノ検査所ヲ建テルト云フ事アリマスガ故ニ、先ツ當業者ノ自覺自

（柏手起る）
本年度カラ著手スルト云フコトハ、今日ハ明言スルコトハ出來ナイ。如何政ノ許ス限り速ニ著手セラレシコトヲ希望スルト云フ條件ヲ以テ、決シタノアリマス、滿堂ノ諸君ノ御賛成アラムコトヲ希望致シマス

省ニ待タナケレバナラヌコトハ勿論デアリマスガ、政府モ之ニ向ダテ嚴重ノ監督ヲシナケレバナラヌ故ニ、先ツ產地及輸出港ニ於テ検査所ヲ設置スル事ニ致シマシテ、此產地ニハ地方團體同業組合、若クハ同業組合聯合會等ニ於テ、検査ヲ希望スル心持が無ケレバ

○岩崎勲君 本案ハ委員長報告通り、可決セラレムコトヲ希望致シマス
○議長(大岡育造君) 委員長報告通り御異議ハアリマセヌカ
(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

ハナラヌノデアリマスルが故ニ、政府ハ之ニ勧誘シテ其検査所ヲ設置セシムル、サウシテ相當ノ補助金ヲ之ニ與ヘル、検査員ハ公平平ヲ保タンガ爲メニ、政府ガ其検査員ヲ任命スルコトニ致シタノデアリマス、一定ノ標準ヲ示シマシテ、即チ内訓ヲ以テ一定ノ標準ヲ示シ、嚴重ノ検査ヲシテ、省令ヲ以テ其合格品ニ非ザルモノ、輸出ヲ禁スルト云フ政府ノ意図デアリマス、委員會ハ満場一致ヲ以テ修正可決致シタノデアリマスカラ、政府ニ同意シラ求メタル所、政府委員モ全然之ニ同意ノ旨ヲ言明致シマシタ、右ノ次第デアリマス

ガ故ニ、今日ノ場合ニ於テ願クバ我輸出獎勵ノ爲メニ、滿場諸君ノ一致御贊成アラム
コトヲ希望致シマス

○伊東知也君
〔賛成「反対」ト呼フ者アリ〕
議長

○岩崎勲君 議長
○議長（大岡育造君） 岩崎君
○岩崎勲君 本案ハ委員長報告通り修正可決セラレントヲ希望致シマス
○議長（大岡育造君） 委員長報告通り御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕
○議長（大岡育造君） 異議ナシト認メマス、仍テ本建議案ハ委員長報告通り可決シタ
ルコトヲ宣告致シマス、日程第十七、野岩羽鐵道建設ニ關スル建議案ヲ議題ト致シマ
ス、委員長戸狩權之助君

○野村嘉八君 議事進行上必要ナラバ、私ハ差支ナイト存ジマス
○議長（大岡育造君） 反対モアリマスルカラ決ヲ採リマス、日程變更
起立ヲ願ヒマス

第十七 野岩羽鐵道建設三關スル建議案(八田宗吉君外六名提出) (委員長報告)

○議長(大岡育造君) 少數デアリマス、仍テ日程ハ變更セラレマシタ
一、第十一、共ニ此場合報告ヲ受ケテ審議ヲ致シマス、福井二郎君

第十一 津山上郡間鐵道建設ニ關スル建議案（福井三郎君外一名提出）

第十一 津山上郡間鐵道建設ニ關スル建議案（福井三郎 一名提出）

○戸狩權之助君　野岩羽鐵道建設ニ關スル建議案、委員會ノ經過及結果ヲ御報
告致シマス、本鐵道ハ栃木縣今市ヨリ分岐ヲ致シマシテ、福島縣田島若松ヲ經、山形
縣米澤ニ至ル鐵道デアリマス、本鐵道ノ必要ナルコトハ、既ニ二十一議會ニ於テ滿場一
致ヲ以テ建議ヲ可決シタ素デアリマス、此度モ八田宗吉カラ提出ニナリマシテ、三十

第十二 津山知頭間鐵道建設ニ關スル建議案（福井三郎四名提出）

官報號外

大正七年三月十日

衆議院議事速記錄第二十一號

野岩羽鐵道建設二關スル建議案津
津山智頭間鐵道建設二關スル建議案

殷ニ關スル建議案

ナキ能ハス政府ハ宜ク之ヲ利用シテ輕便鐵道建設ノ計畫ヲ立テラレムコトヲ望ム
右建議ス

津山智頭間鐵道建設ニ關スル建議案

津山智頭間鐵道建設ニ關スル建議案

一岡山縣下津山ヨリ鳥取縣下智頭ニ至ル鐵道

右ハ山陰山陽兩道聯絡ノ直通線路ニシテ鳥取縣下鳥取ヨリ智頭ニ至ル輕便鐵道ハ政府ノ計畫トシテ既ニ大正八年ヲ以テ完成セムトシ 岡山縣下津山ヨリ岡山ニ至ルニハ私設中國鐵道ノ既設線アリ依テ智頭津山間僅ニ二十三哩餘ノ鐵道ヲ建設セハ陰陽ノ聯絡ハ更ニ一層ノ便利ヲ加フヘシ政府ハ宜シク速ニ輕便鐵道ヲ敷設シ之カ實適フ計畫セラレムコトヲ望ム

右建議ス

○福井三郎君 先刻本案ノ日程ニ上リマシタ時分ハ、私ハ委員會ニ於テ重要案件ノ取調中テ御坐イマシテ、其際ニ間ニ合ヒマセヌテ 御手數ヲ掛ケルコトニアリマシタノハ恐縮致シマス

〔登壇々々ト呼フ者アリ〕

○議長（大岡育造君） 登壇ヲ願ヒマス

○福井三郎君 登壇スル程ノコトハアリマセヌ

○議長（大岡育造君） 登壇ヲ願ヒマス

〔福井三郎君登壇〕

○福井三郎君 津山上郡間鐵道建設ノコトハ、即チ作州津山ヨリ播州ノ上郡へ鐵道ヲ建設シヤウト云ノノ御坐イマス、其理由ハ載セテ建議案ニ詳カナリ、ソレヨリ以上

ノ事ハ委員會ニ於テ委シク 説明致シマスカラ、ドウゾ諸君ノ御賛成アランコトヲ希望致シマス、尙ホ後ニ一件津山智頭間ニ對スル建議モ、私外四名ア出シテ居リマスガ、ソレハ提出者ノ一人ヨリ説明セラレル筈アリマス、是モ宜シク御願ヒ致シマス（拍手起ル）

（奥田柳藏君登壇）
○議長（大岡育造君） 奥田柳藏君
（拍手起ル）

○奥田柳藏君

諸君、私ハ唯今議題ニナシテ居リマス智頭ヨリ津山ニ至リマス鐵道建

設案ニ對シテ、建議案ノ趣旨ヲ簡單ニ述ベマシテ、滿場ノ御賛成ヲ請ヒタイト思ノア御坐イマス、此鐵道ハ鳥取市ヲ起點ト致シマシテ、智頭ヲ經テ岡山縣下津山ニ至ル所ノ全線四十三哩間ノ鐵道テ御坐イマス、此鐵道ガ中國鐵道ト連絡致シマシテ、陰陽連絡ノ一つノ鐵道トナルノ御坐イマス、此中既ニ鳥取ヨリ智頭ニ至ル一十一哩ノ鐵道ハ、大正四年ヨリ著手ニナリマシテ、唯今工事中ナノ御坐イマス、今ヨリ一年ノ後ニハ此二十哩ハ落成ヲ致スコトニシテ居リマス、殘ル智頭ヨリ津山ニ至ル一十三哩ガ、未

ダ著手ノ計畫ニナラナイノデ、此建議案ヲ提出致シマシテ、皆サンノ御賛成ヲ請フ次第アリマス、此鐵道ニ對シテ提出致シマシタ所ノ建議案ハ、累ニ度々建議ヲ致シマシテ、

本院ヲ通過シテ居ル所ノ線路テ御坐イマス、故ニ本年ノ豫算ニハ、相當ノ計畫ヲシテ提出サレルコト、信ジテ居リマシタ、然ルニ此計畫が出来テ居ナノア甚ダ遺憾ト致シテ居ル所ニ御坐イマス、私が申ス迄モナク本鐵道ハ軍事上ハ固ヨリ、經濟上最モ必要ナル線路デアリマシテ、殊ニ森林其他物資ノ豐富ノ地方テアリマスカラ、此地方ノ開發ハ單

リ地方ノ利益ノミナラズ、國ニ取りマシテモ最モ必要ナル線路テ御坐イマス、政府ニ於テハ一日モ早ク計畫ヲ立テラレマシテ、遲クトモ次ノ議會ニハ提案アランコトヲ切ニ、希望シテ已マヌ次第ニ御坐イマス、尙ホ先達テ開カレマシタ鐵道法中改正法律案ノ委員會ニ於テモ、此線路ノ一日モ早ク計畫ヲ立テラレマシテ、著手セラレント云ノ附帶ノ希望條件ヲ満場一致デ決セラレマシテ、其報告モ本會ニサレテ居ル位デアリマシテ、極メテ必要ナ線路デアリマスカラ、ドウカ満場ノ諸君御賛成ヲ偏ニ希フ次第ニ御坐イマス

○岩崎勳君 兩案ヲ一括シ議長指名ヲ以テ九名ノ委員ニ付託セラレントコトヲ望ミマス○議長（大岡育造君） 岩崎君ノ動議ニ御異議ナイト認メマス、仍テ本案ハ議長指名九名ノ委員ニ、兩案共付託スルニ決シマシタ、日程第十八、第十九ハ同一委員ニ付託シタル議案ナルニ依リ、一括議題ト爲スニ御異議ハアリマセヌカ

〔「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長（大岡育造君） 御異議ナシト認メマス、一括議題ト致シマス、委員長天春文衛君

第十八 勢江鐵道敷設ニ關スル建議案（天春文衛）（委員長報告）

第十九 紀勢鐵道建設ニ關スル建議案（岡崎邦輔）（委員長報告）

第十九 紀勢鐵道建設ニ關スル建議案（岡崎邦輔）（委員長報告）

第十九 紀勢鐵道建設ニ關スル建議案（岡崎邦輔）（委員長報告）

〔天春文衛君登壇〕

〔拍手起ル〕

○天春文衛君 私ハ此勢江鐵道ノ敷設ニ關スル建議案、紀勢鐵道ノ建設ニ關スル建議案トノ、特別委員會ノ經過及結果ヲ御報告致シマス、御坐イマス、建議ノ順序ト致シマシテ、先づ勢江鐵道敷設ニ關スル委員會ノ經過及結果ヲ申上ゲマス、御坐イマスガ、委員會ハ丁度兩度開キマシテ、質問應答ノ末、委員全體ハ運輸交通上最モ

必要ト認メマシテ、政府ハ至急調査ナレンコトヲ望ムトノ趣意ヲ以テ、全會一致可決致シマシタ御坐イマス、又政府ニ於キマシテモ、政府委員ノ答辯ニ依リマスト云フト、此線路ハ政府トシテハダメ始メテノコトデアル、サリナガラ篤調査ヲ致シテ見ルト云フコトノ答辯アッタノ御坐イマス、勢江鐵道ノ方ハ斯様ナ趣意テ、委員會ハ全會一致ヲ以テ可決致シマシタ御坐イマス、次ニ紀勢鐵道アリマスカラ、此線路ハ既ニ第一十六議會、又二十八議會ノ建議ハ通過致シマシタヤウナ次第ニ、鐵道網ニ這入ツテ居リマス、又陸軍當局ニ於キマシテモ、軍事上最モ必要ト認メルト云フコトニアリマス、又政府委員ニ於テモ是ハ必要アルカラト云フコトア御坐イマスガ、兎ニ角他ノ最モ急設ヲ要スルヤウナ所ノ鐵道事項モアルカラ、成ルベク部分のニテニ漸次進行ラシタイ

ト云フコトノ答辯テアリマシタ、是モ矢張委員會ハ全會一致ヲ以チマシテ、急設ヲ希望スルトノ意見ヲ以テ決定致シマシタ次第御坐イマス、斯ノ如ク兩案トモ委員會ハ可決致シマシタ次第御坐イマスカラシテ、全會一致ヲ以テ可決致シマシタ次第御坐イマスカラ、ドウカ本會ニ於キマシテモ、滿場諸君ノ御贊成ヲ偏ニ希望致シマスノデ御坐イマス

〔「贊成々々」ト呼フ者アリ〕

○岩崎勲君　兩案共ニ委員長報告ノ通り可決セラレントラ希望致シマス

○議長(大岡育造君)　委員長報告通り御異議ハアリマセヌカ

〔「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(大岡育造君)　御異議ガ無ケレバ兩案トモ、委員長報告通り可決シマス、日程第一十「トラボーム」病豫防ニ關スル建議案ヲ議題ト致シマス、委員長伊東重君

第二十　「トラボーム」病豫防ニ關スル建議案(行徳)(委員長報告)

〔伊東重君登壇〕

(拍手起立)

○伊東重君　「トラボーム」病豫防ニ關スル建議案ニ付テ、委員會ノ經過及結果ヲ御報告致シマス、「トラボーム」病トハ御承知ノ通り、是ハ眼ノ傳染病デ御坐イマス、今ヤ我國ニ於テ此眼ノ傳染病ハ國民ノ全階級ニ亘ツテ、殊ニ下層階級ニ於テ非常ナル勢ヲ以テ傳染蔓延シツ、アル状態アリマス、勿論眼ノ傳染病ニアリマシテ、其害毒ハ直チニ生命ニ危険アルト云フ程ノモノテナリマセウガ、其利害ノ關係スル所ハ頗ル廣汎ニシテ、或ハ學校衛生ニ於テ、或ハ軍隊衛生ノ上ニ於テ、或ハ工場衛生ノ上ニ於テ、或ハ移民政策ノ上ニ於テ、重大ナル問題トナツテ居リマス、即ち毎年ノ徵兵検査ニ於テ、單ニ此病氣——眼病ノ爲ニ不合格トナル壯丁が三千三百以上アルト云フニ至ッテハ、實ニ國家ノ爲ニ寒心セザルヲ得ナイ次第アル、又工業ノ盛シナル地方ニ於テ、其職工ノ事ト考ヘル、即チ國家存立ノ上ニ於テ、列強ノ間ニ存在シテ競争シツ、アル今日、兵力ノ極メテ貴重スベキ時代ニ於テ、又國際間ノ經濟戰ノ激烈ナル時代ニ於テ、兵力ノ上カラ見ナモ、將又工業ノ上カラ見テモ、「トラボーム」ハ直チニ富國強兵ノ基礎ヲ浸蝕シツアル次第アリマシテ、「トラボーム」病ハ其性質ニ於テ「ペスト」「コレラ」ノ如ク猛烈ナルモノデアリマセヌケレドモ、其害毒ノ分量ニ於テハ、決シテ是等「ペスト」ニ優ルコトアリトモ劣ルコトノ無イヤウナ有様アリマス、隨シテ市町村ニ於テハ多大ノ費用ヲ投ジテ、是ガ豫防撲滅策ニ力ヲ盡シテ居リマスガ、何分ニモ容易ニ效ヲ奏スルコトハ出來ナイ、是ハ畢竟市町村ノ力ガ微弱ニシテ、且ツ其方法ハ區々ニシテ、互ニ連絡ナキ爲ニ容易ニ效ヲ奏スルコトが出來ナクテ居リマス、此故ニヤ國家ノ力ヲ以テ、之ヲ根本的ニ豫防撲滅スルノ必要アリト信シテ居リマス、是が本案ヲ提出シタ趣意アリマシテ、今ヤ國家

ノ力ヲ持ツ迄モナク「トラボーム」豫防協會ト云フモノガアツテ、全國ニ多數ノ會員ヲ有シテ居リマス、併シ私立ノ事アルカラ、是亦十分ノ效ヲ奏スルコトガ出來ナリ、此建議案ハ即チ全國ニ亘ツテ居ル豫防協會員ノ代表的ノ熱望アリマス、現ニ歐羅巴ニ於テハ、國家ノ力ヲ以テ十分豫防撲滅ノ效ヲ奏シテ居リマス、此「トラボーム」ナル病氣ハ今ヲ去ル百二十年程前、即チ千七百九十八年ニ「ナボレオン」一世ガ埃及遠征ノ折ニ、其軍隊ニ發生シタト傳ヘラレテ居リマスガ、其後歐羅巴各國間ニ非常ナル勢ヲ以テ蔓延シマシタガ、歐米各國ニ於テハ此「トラボーム」病ノ國力ノ消長ニ關係スル事ヲ認メテ、多大ノ國費ヲ投シテ力ヲ盡シタ結果、今日アハ殆ド此忌ムベキ眼ノ傳染病ヲ驅逐シテ仕舞ヒマシタ、又稀ニハ一地方ニ限ラレテ此傳染病ノ發生スルコトガアツテモ、恰モ我國ニ於ケル「ペスト」或ハ「コレラ」ノ發生シタ如キ大騒ヲシテ豫防撲滅ニ全力ヲ盡シ、是ガ爲ニ全國ニ其害毒ヲ及ボサヌヤウナ次第御坐イマス、我國ニ於テモ最早之ヲ市町村ノ薄弱ナル豫防及撲滅ニ委セテ置クト云フコトハ、頗ル國家ノ爲ニ憂フベキ事アリマスカラ、是非國家ノ力ヲ藉シテ、之ヲ根本的ニ統一的ニ撲滅豫防スルノ必要ヲ感シマシテ、委員會ハ慎重審議ノ末、更ニ此建議案ノ意味ヲ一層明瞭ニ、一層徹底的ナラシム爲ニ

「トラボーム」病豫防ニ關スル建議案ト云フノヲ「トラボーム」病豫防撲滅ニ關スル法令制定ノ建議案ト云フコト改メテ可決致シマシタ、政府モ亦歎シテ之ニ同意ヲ表シタ次第御坐イマス、何卒滿場ノ諸君、御贊成アランコトヲ希望致シマス(拍手起立)
○岩崎勲君　本案ハ委員長報告ノ通り、即チ委員會ニ於テ修正議決ノ通り可決セラレントラ希望致シマス
○議長(大岡育造君)　委員長報告通り御異議ハ御坐イマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(大岡育造君)　異議ナシト認メマス、仍テ本建議案ハ委員長報告通り可決シマシタ、本日ハ是ニテ散會

午後二時二分散會

衆議院議事速記録第十九號正誤

頁三七〇 段下 行誤 正
誤ニ藉リテ 威ヲ藉リテ

